

# 会議録

会議の名称	第4回藤井寺市病院跡地活用検討委員会
開催日時	令和8年2月4日(水) 10:00~11:20
開催場所	藤井寺市役所 3階 305会議室
出席者	<p>[藤井寺市病院跡地活用検討委員会 委員] 岡山委員長、 地下副委員長、 馬場委員、 西矢委員、 前原委員、 森田委員、 東口委員、 西野委員</p> <p>[事務局] 山本政策企画部長、角森 FM 推進課長、森内主幹、脇田主幹、山本主査</p> <p>[関係者] 有限責任監査法人トーマツ 3名</p> <p>(順不同)</p>
会議の議題	(1) 導入機能案について (2) 基本構想策定スケジュールについて
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ( )
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	6人
その他の必要事項	

	<p><u>1. 開会</u></p>
	<p><u>2. 議事</u></p> <p>【(1) 導入機能案について】  (事務局より資料に基づき説明「資料1 第4回藤井寺市病院跡地活用検討委員会資料」、「資料2 多世代交流機能 事例調査報告」)</p>
西矢委員	<p>基本構想の案として示す際にどのような表現になるのか。検討の方向性と各機能の内容を示す表現に留めるのか。</p>
事務局	<p>現在のところ基本構想案のとりまとめの内容まで固まっていないが、本日説明した方向性とそれに対応した機能の内容を示す形を想定している。</p>
岡山委員長	<p>先進事例として各設計事務所において複合施設の設計実績が増えてきている。基本構想では建築的な具体的な内容を確定させるのではなく、設計要件となるような事項を掲載しておいてはどうか。今後、基本計画、基本設計へと進めていくことになると思うが、設計における工夫の余地を残した方がよいのではないかと。  検討委員会において詳細に検討した内容を別途整理するなど、書き分けが望ましいと考えられる。</p>
前原委員	<p>他市事例調査資料から、集客のために様々な工夫をし続けることの重要性を認識した。ハード面以外でも、例えば商店街等の地域へのアプローチなどソフト面での工夫も必要ではないかと思った。</p>
事務局	<p>視察の中で賑わっている事例とそうでない事例の差が顕著であった。  賑わっている事例では、指定管理者による民間ノウハウを活用し、地域を巻き込んだイベント企画や地域の方に積極的に施設を活用してもらうための働きかけを行っている傾向があった。</p>
岡山委員長	<p>ハコモノ行政に終始せず、運営者のソフト的工夫や、商店街などの地域との協力関係が重要であることは他事例からもみられる。</p>
東口委員	<p>トレーニングルームの案について、市民体育館があることを踏まえると、コストがかかるトレーニングマシンの導入の必要性には疑問がある。それよりも貸室を活用した運動教室などのプログラムを充実させる方が有意義だと考える。指定管理を活用するのかといった点と合わせて検討が必要である。  また、午前中に未就学児が利用し、午後からは小学生も使えるなど、気軽に集える広場があるとよいと考える。</p>
岡山委員長	<p>保健センターの移転は難しくても、サテライト機能としての導入検討は必要ではないか。様々な機能が市内西側に偏っている印象があるので、移転ではなくサテライト機能の導入によって補うことを検討することが望ましい。</p>

西野委員	予算の制約があることは理解しているが、予算を下げるが故にこれまでと違いがわかりにくいような中途半端な建物ではなく、しっかりと違いがわかる整備を目指して欲しい。
岡山委員長	基本構想から設計に至るプロセスは今後の検討だが、プロポーザル方式にするなど民間事業者から、よりよい提案を引き出せるようなプロセスを目指してほしい。また、近年のプロポーザルでは、設計業者と施工業者が一緒になった DB 方式で応募する場合があるが、そこに運営事業者も含めた DBO 方式で応募することも考えられる。
森田委員	他市事例を参考にして考えると、ハード整備だけでなく施設をうまく活用できるプレイヤーにどれだけ関与してもらえるのか、という点も重要といえる。
馬場委員	導入する機能が多ければ多いほど、必要となるアイデアや知見も増えるため、民間事業者の知見やアイデアを活用することも有効な手段である。指定管理等を活用すると市の財政的にもよいと考えられる。
事務局	先進事例からも、市が直営で運営するよりも指定管理を入れる方が民間事業者の知見やネットワークが活用でき、良い事例になっているという傾向がみられる。設計の段階で指定管理者を決め、一緒に設計検討する事例もあるため、そのような事例も参考にしながら検討を進めていく。
西矢委員	運営形態として、地域の団体や学校教職員、高齢者など市民自身が関与していく仕組みづくりが重要である。
岡山委員長	市民自身が運営に連携していくことは難しいが、日常的に気軽に利用されるような形が理想的である。
地下副委員長	各機能について、機能①は国の条件に当てはめて検討することになると思うが、機能②～④については地域においてどのような機能が必要かという観点で優先順位をつけながら検討してほしい。 ソフト面については関与するプレイヤーが重要だと考えられるので、運営面の条件についても検討してほしい。
岡山委員長	現在の検討結果である機能や施設配置の考え方については概ね同意いただいたことを確認できた。 本来の任期は 3 月で終了だが、こども園の運営形態や基本構想のまとめ方など、検討課題が残っているため、今後も引き続き検討が必要になる。  【(2) 基本構想策定スケジュールについて】 (事務局より資料に基づき説明「資料 3 基本構想策定スケジュールについて」)
岡山委員長	基本構想策定スケジュールの延長に応じて、委員の任期も半年間延長になり、次年度以降も現在と同様のメンバーで議論していくことでよいか。 ⇒ 一同、承諾

事務局	<p data-bbox="368 194 478 226"><u>3. 閉会</u></p> <ul data-bbox="368 237 1445 360" style="list-style-type: none"><li data-bbox="368 237 1445 315">・会議録の公開について、事務局で会議録を作成し、委員長に確認いただいた後、市ホームページにて会議資料と併せて掲載させていただく。</li><li data-bbox="368 327 1445 360">・次回委員会については、準備が整い次第、日程調整の連絡をさせていただく。</li></ul>
-----	--